



KUFS TOKYO NEWSLETTER

2009年1月14日

京都外国語大学校友会東京支部

VOL.9

トピックス

- ごあいさつ
- 支部長年頭のご挨拶
- CLUB HAT'S お知らせ
- 外大キャリアサポート
- 外大生・横顔シリーズ
- 海外便り
- 活動メンバー紹介

東京支部 本山裕彦支部長
新年のご挨拶

関東地区の皆様へ

ご理解とご協力に感謝

* 東京支部 NEWSLETTER 第9弾 *

明けましておめでとうございます。
皆さんの中にある夢のビッグプロジェクトの
スタートの時です。
地面をしっかりと踏みしめて、ゆっくりスタートし
ましょう！そして、徐々にスピードアップです。



この東京支部NEWSLETTERも9回目となります！
KUFS現役生と卒業生の架け橋となることを目標に、情報交換の
コミュニケーション・スペースとして、充実を計ってゆきたいと思えます。
まだ、NEWSLETTERを受け取られていらっしゃらない方をご紹介
させていただきますよう、今年もご協力をお願いいたします。

連絡・投稿先は >>> tonegawa@gm-group2.net

東京支部支部長 年頭のご挨拶



明けましておめでとう御座います。

地球温暖化、環境問題、世界経済
不安、失業問題、年金問題、ねじれ国
会と衆議院選挙、少子高齢化、そして
イスラエルガザ地区侵攻など。

「ウーン、大変な問題をこの丑年2009年は解決しなければ...」地球規
模や国政レベルの課題が身近に迫って来ています。
さて、校友会東京支部では「卒業生の集い」も昨年20回を数えました。
関東地区の皆様のご理解とご協力に加え、校友会本部並びに大学のご支
援のお陰と感謝申し上げます。
更なる KUFS OB/OGに対する交流の場の提供をと、役員一同努力致す
ところではあります。

その為、双方向のコミュニケーションの大切さを認識し、このニュースレ
ターの充実を推進して参ります。校友会・大学、そして皆様からの、『情報
提供とその共有化』を促進する事を、今年度の重要課題と位置づけていま
す。

本年7月4日第21回関東地区「卒業生の集い」が開催されます。皆様と
お会い出来ます事を楽しみにしています。

東京支部 支部長 本山 裕彦

京都外大クラブハッツ(CLUB HAT'S)お知らせ

京都外大 クラブハッツ

東京支部発足のご案内

京都外大クラブハッツ(CLUB HAT'S)東京部会 発足間近！ 参加者大歓迎！

1月17日(土)、下記要領にて、「クラブハッツ(CLUB HAT'S)東京部会 第1回親睦総会」を開催致します。HAT'Sとは、ホテル(Hotels)、航空会社(Airlines)旅行会社(Travel agencies)の頭文字を組み合わせた名称で、校友会に属する旅行関連業界の部会です。

今日、大変厳しい時代をむかえています。関東地区に集まる京都外大出身者同士が力を合わせ、励まし合い、切磋琢磨して新たな時代を勝ち抜くための組織体を立ち上げる運びとなりました。東京部会では、旅行関連にとどまることなく、業界を問わず柔軟な組織にしたいという考えから、HAT'Sの「'S(他業界)」の皆様のご参加を大歓迎致します。

クラブハッツ東京部会は、「小さく産んで大きく育てる」という考えで、外大の人的ネットワークを拡張してまいります。お互い外大の仲間として、在校生や留学生との交流も視野に入れたいと考えます。将来、在校生の東京地区での就職活動支援にも役立ちたいとも考えています。「オール京外大」の実践に寄与でき、それらの活動や支援を通して、母校を盛り上げることにも貢献できる組織の構築を目指します。皆さまのご参加をお待ちします。

- 日時: 2009年1月17日(土)、午後1時から。
- 場所: アルカディア市ヶ谷 宴会場
東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館
(JR総武線・地下鉄各線、「市ヶ谷」駅から東へ徒歩2分)
電話: 03-3261-9921 <http://www.arcadia-jp.org/access.htm>
- 会費: 6,000円
- 連絡先: メールにて登川(みねかわ)まで(携帯: 090-5275-6197)
Email: jiro_vortis12@hotmail.com

遅くとも1月15日(木)午後5時(17:00)までにご連絡をお願いします。

外大キャリアサポート事情 第4回



『オール京外大』を目指して
~海外インターンシップも視野にいれて~

京都外国語大学
キャリアサポートセンター
山下 順朗センター長

新年にあたりまして、外大発「オール京外大」を目指しての先導役でいらっしゃる山下センター長の新たな思いとメッセージをお聞かせいただきました。

2009年1月17日(土)13:00

アルカディア市ヶ谷にて開催

外大キャリアサポート第4回

京都外国語大学

キャリアサポートセンター

山下順朗センター長

海外インターンシップをスタート

Q:100年に一度の経済危機とも叫ばれている昨今、昨年後半より急速に経済情勢とそれに伴う就職状況も変わりつつあるようですが。

A: 厳しい時代を迎えているのは事実です。当センターは、卒業生を含め現役学生のサポートを第一に考えています。緊密に連絡を取り合うこと、関係を強化することが今までになく大切と考えています。一方、学生の就職先企業との連携強化も大事です。また、企業開拓の促進と卒業生を採用していただいている企業と親交をはかることに当センターは注力しています。

Q:何か新しい試みをお考えでしょうか。

A:これまで国内の企業に協力をいただきながら、「大学にいながら、企業を実際に体験してみよう！」とのことで、インターンシッププログラムを実施してきました。今後は国内のみならず海外インターンシップもスタートさせていく予定です。海外企業との連携と親交を深めていくことを視野に入れております。

大学と企業の結びつきを強化

Q:現在、京都外大の学生に求められるものは何でしょうか。

A:外国語大学ですから、言語が軸になるのは当然かと思います。しかし、就職先企業から、外大出身者は社会の動きや世間の移り代わり、政治経済・時事問題にやや疎いという指摘を受けます。学生にはこのあたりに力点を置いた指導を考え、そのための研修プログラムを見直していきたいです。大学としてのカリキュラムの中で、実社会教育のクラスやキャリア開発、キャリア教育という講座はあります。今後、これをもっと発展させたいと考えます。実業界から先生を招くなど、教室のみならず、大学と社会との結びつきを強化したいですね。そのためには、OB、OGからの協力をお願いしたいです。

卒業生と現役学生との融合を

Q:OB、OGと現役学生との融合ですね。

A:そうです。先ほども申し上げましたが、学生や企業との関係強化、国内外で企業を開拓し連携を密にする、さらに学生と企業を結びつけ大学と実社会との関係を強化したい、と思います。そのためにも、2009年も引き続きキャリアサポートセンターへのご支援よろしくお願い申し上げます。

メキシコ料理レストラン

オーナーシェフの渡辺庸生さん

日本人の顧客に評判がよく、

無我夢中の日々

メキシコ人の船員から

すべてのメニューは

本国のものではないと言う

残酷な言葉が...

メキシコ本国へ行くしかない

決断

外大生・横顔シリーズ



メキシコ料理レストラン La Casita オーナーシェフ昭和 46年 イスパニア語学科中退渡辺庸生さん(昭和 23 年 10 月 7 日神戸生まれ)の連載 2 回目です。

偶然にも京都外大の先輩が経営している神戸のメキシコ料理店の存在が知らされる。即座に面接を申込、採用されたその日から期待に胸を躍らせながら調理に従事する日々が始まる

そんな私を待っていたものは...

外国語を訳す事がこんなにも楽しいとは！学生時代には思いもよらなかった毎日である。店舗拡大した厨房をほとんど任された私は、タコスを中心にしたメニューに飽きたらず、英語で書かれた MEXICAN-COOKING の原書を元に、我が意を得たりとばかりに新メニュー開発に取りかかる意欲を燃やし、試作した料理がお客様の評価を得て定番となる喜びに浸りながら無我夢中の日々を過ごしていた。今思えば、まるで時代を担う寵児のように錯覚していたのであろう。2 年も過ぎた頃の事だった。神戸港に着いたメキシコの貨物船から船員達が立ち寄ってくれたのである。注文を受け、得意げにいくつもの皿を提供する私に、我が耳を疑う声が聞こえてきた。「何だこれは、メキシコ料理ではないね。」「ひどいね、この皿は。」明らかに不満げに彼らは憤っているのだ。日本人の顧客には美味しいと絶大な賞賛をされた味が何故？問い質した私への返答は、すべてのメニューが本国のものではないという全面否定の残酷な言葉であった。あとに知ることになるが、当時の私は米国で培われた TEX-MEX のメキシコ料理を準えていたのである。

意気消沈した私は微かな期待を胸に、大阪、名古屋、横浜、東京とメキシコ料理の看板を掲げている店を訪ね歩いてみた。しかし、どの店も似たようなメニューしか提供しておらず、これはもう本国に行って確かめるしかない」と心に決め、あらゆる伝(つて)を駆使して情報を集めメキシコへ旅立つことになる。26 歳の秋の事だった。到着した次の日から就職活動のため弁護士に労働ビザの申請を依頼して、メキシコ大使館の方に頂いた 20 件ほど

失業率の高いメキシコでの

就職に苦戦

弁護士の温情深い配慮で

面接の予定が...

のリストを元に各レストランを訪ねる日々が始まった。しかし、我国よりも失業率の高いこの国の事情ではどこの店も外国人には素っ気無く、冷たくあしらわれただけだった。3週間後、就職先の決まらぬ私は、残りの金で地方を回ってから帰国する気持ちで弁護士に事情を告げに行った。一通り話し終えた頃、彼は自分が顧問をやっている会社の役員がひいきにしている店があるから聞いてみるとその場でその役員に「メキシコ料理に熱意を持った日本人がいる、何とかならないか」と、電話をかけてくれたのである。まったく身も知らぬ他人の温情深い配慮で、その店の面接が予定された私は、次の日、驚嘆に価する光景を目にすることになる。



La Casita 店内の一角



店内で働くシェフ

次回へ続く～TO BE CONTINUED～お楽しみに！

海外便り「フランス編」

夢の実現のためにフランスでがんばっていらっしゃいます
平成 12 年度フランス語学科卒業の寺尾恵さんからの便りです！

フランスで☆と暮らす



“フランス語を勉強しようと思ったキッカケはなんですか？”
本当に良く訊かれる質問…理由がないわけではないし、話したくない訳でもないのだけど、私たちは毎日呼吸をし、食事をして生きていて、生きていくわけだから進化もすれば新しい考えも浮かぶ。前を見て進む生き物でしょ。要するにその理由、今となっては「どうでもいい」ものになってしまった。ただ、せっかく勉強したのだから、一度は使ってみたい、とかフランス人と友達になってみたい、とか「せっかく」という気持ちは正直あった。

その「せっかく」から私は今ここフランスで生活している。始まりは、まさに

海外便り第1弾 フランス編

平成 12 年度フランス語学科

卒業の寺尾恵さん

フランスで暮らす

「せっかく」外国語を勉強したのだ

からという鶴の一声が

今のフランス生活のはじまり

鶴の一声。

—フランスで日本人のいる日本料理店をやりたいのだけど、どう？行ってみる？

いろいろな方面で日本人の活躍が目立つようになったなあ、とか日本の文化とか考え方が認められるようになってきたなあ(例えばエコ心“mottainai”とか…)、なんて感じ始めていたので、日本に生まれ、そこで暮らす事に正直、幸せを感じていた。一人暮らしをはじめ、約10年。仕事もある、友達もいる。好きなテレビ番組もある。満足していたのである。(ああ、ささやかながら幸せ…)

“住めば都”って転勤族だった私たち家族の中で時々でてくるキーワード。やっぱりこれなのだろうか…いろいろ違いはあるだろうけど、そう“住めば都”!“せっかく”だから行ってみよう!!楽しんでみよう!!というわけ…そして、来てしまいました~!!パリではない、ちいさな町での生活。文化、体験、感じる事などなどこれからたくさんあるでしょう。

さて住むのは、れっきとしたミシュランの☆つきレストランの上!おまけにその横には同じオーナーのビストロがあり毎日にぎわっている。そして私の職場はその間!というわけで、フランスと日本の文化を、食を通して交換する日々を送ることになったのです。

ところで、今日の天気予報…午前中の予想気温はマイナス6℃、午後になると上がって、0℃だそう。気候のおだやかな瀬戸内で生まれ、東京で生活していた私にとってはちょっと面白い温度帯…(確か、去年は東京ではとうとう初雪が観測されなかったような。)ここでは、時々降る雪は溶けるスキを与えられず、もう一週間前の状態で残っている。特に今年はとびきり寒いらしい。きくと例年の冬の寒さは3月までは続くとのこと…ただ屋根にうっすら残る雪はただただ綺麗。でも綺麗とばかりは言っていられず、めったに雪の積もらないマルセイユでは交通は完全に麻痺してしまったそうで…こんな長く厳しい冬を越すからこそ春の喜びが大きいのでしょう。今はみんなしっかり着込んで、寒さから身を守る為にふくらんだ鳥たちのよう、春を待つのでした。

*** ガンバレ、外大卒業生! ***

活動メンバー紹介



私たち東京支部は、たくさんの有志の皆さんの理解と協力の上に成り立っています。このコーナーでは、現在、東京支部をささえています役員や実行委員の皆さんの横顔を紹介させていただきます。少しでも、東京支部への親しみと近しみを増していただけると幸いです。

今回は東京支部 副支部長の40年度
英米語学科卒業・西校出身の村松武雄さんです

支部長補佐として黒子に徹し...

大学時代はゴルフ部所属

東京支部 100周年目指して

長生きします！

事務局

135-0021

東京都江東区白河

4-9-16-607

(株)グローバルメディア内

電話

03-5245-8501

FAX

03-5501-9031

電子メール

tonegawa@gm-group2.net

企画・編集: 森田 順子

発行責任者: 本山 裕彦

謹賀新年 昨年 京都外大校友会関東支部、副支部長の大役を賜りましたが、本山支部長補佐として、黒子に徹して行きたいと思っております。昨年、関東支部総会は20周年を迎えましたが、第1回より、連続20回出席させていただいております。これも、大学 先輩 後輩等のおかげと、有り難く思っております。大学時代はゴルフ部に在籍しておりました。合宿リーグ戦等楽しい思い出ばかりです。卒業後は得意の英語を生かすことなく、某繊維メーカーで定年を迎え、今は月2~3のゴルフと年1回の校友会を楽しみにしております。30周年、50周年、100周年(ムリカナ)目指して、長生きしたいと思っております。

***** 活動メンバー募集中 *****

お詫び: 前回活動メンバーとしてご紹介させていただきました、木村健司さんの卒業年度・学科が間違っておりました。「57年度フランス語学科卒」と訂正させていただきます。申し訳ございませんでした。

=====事務局便り=====

ニュースレター配信がフランスにも届いたようです！海外で活躍されている卒業生をご紹介できますことを心からうれしく思います。

今年もバイタリティのある皆さまを次々にご紹介してゆきたいと考えておりますので、ご協力をよろしく願いいたします。皆さまの周りで活躍している卒業生、自薦・他薦を問いません、当事務局宛お知らせください。

連絡先は >>> tonegawa@gm-group2.net

=====